

## 立命館大学人間科学研究所紀要「立命館人間科学研究」査読について

2009年12月1日

「立命館人間科学研究」編集委員会

本誌は、立命館大学や学園組織に所属する教員・学生を中心とした研究者を主な投稿者とする実証的・理論的研究論文を年2回発刊している学術誌です。学外の一線の研究者の方にも論文査読に参加していただき、論文の質の向上を図っております。

当誌の査読作業の概要は以下の通りです。

### 1) 査読者の構成

投稿された原稿については、原則として内部の編集委員（以下、「内部査読者」と称する）1名と外部の研究者（以下「外部査読者」）1名の計2名によって独立に査読を行います。外部査読者の人選と決定は投稿論文の内容によって、編集委員会によって決定します。従って、外部査読者の氏名は、投稿者に対しては匿名となりますが、内部査読者（編集委員）には周知されることとなります。内部査読者は、外部査読者情報を編集委員会外に漏洩させないという守秘義務を負います。編集委員が、投稿者（筆頭、連名いずれか）であった場合には、そのメンバーは当該論文の編集作業には参加しません。

### 2) 査読の結果と最終判定まで

査読判定については、2名の方で採択（評価ABC）か非採択（評価D）について、評価が分かれた場合には、主査である内部査読者の判断を重視し、その意見を編集長が受けることとなります。

両名の判定がC以上である場合には、両者の結果とコメントを、原則として投稿者にそのままコピーを示し、改訂作業を指示します。

改訂の結果、再投稿された原稿については、編集長が査読意見を相応に満たした改訂がなされたと判断した場合には採択とさせていただきます。改訂内容が不完全あるいは査読者とのさらなる意見が必要であると判断された場合には、再査読を依頼することがあります。

### 3) 外部査読者の名称の公表

外部査読者の氏名と所属は、とくに不掲載の希望のない限り、当誌当該号の巻末に日本語と英語で、ゲストレビューア（Guest Reviewer）として表記されます。

以上